

さつま町国民健康保険の医療費

本町国民健康保険の医療費についてお知らせします。
国民健康保険制度は、加入者の保険税と公費（国・県・町）負担で賄われています。医療費の節約にご協力をお願いします。

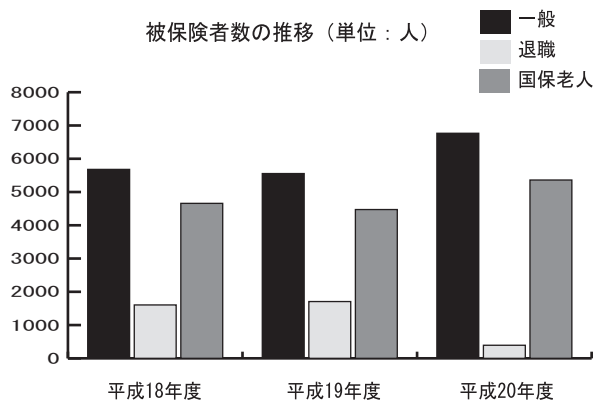


1 被保険者数の推移

国民健康保険の加入者数は、この3年間で少しずつ減ってきており、町の全人口に占める割合は、平成21年3月末現在では28・8%です。平成20年度では、一般の加入者（74歳以下で退職を除く）6,766人、主に会社などを退職さ

れて国保に加入された方393人となっています。会社などを退職して加入された方が大きく減っていますが、制度改正により65歳以上の被保険者が一般被保険者に移行了ためです。国保老人については、平成20年4月から後期高齢者医療制度に移行了ため制度自体がなくなっています。

被保険者数の推移（単位：人）

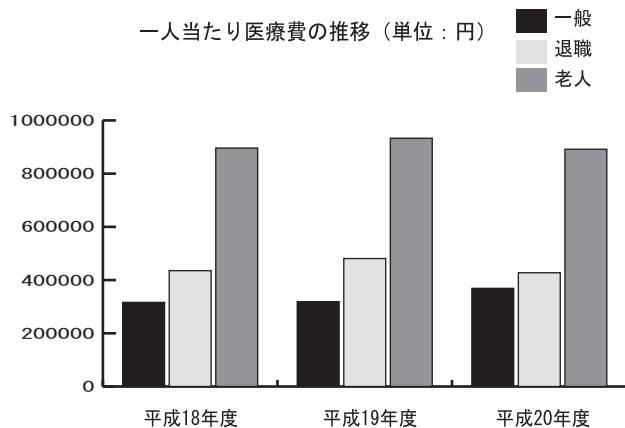


加入者数は減少傾向ですが、一人当たり医療費は、年々増えています。

2 1人当たり医療費の推移

なお、後期高齢医療者数（75歳以上の元社保加入者含む）については、5,361人が対象となっており、町の全人口に占める割合は平成21年3月末で21・5%となっています。

一人当たり医療費の推移（単位：円）



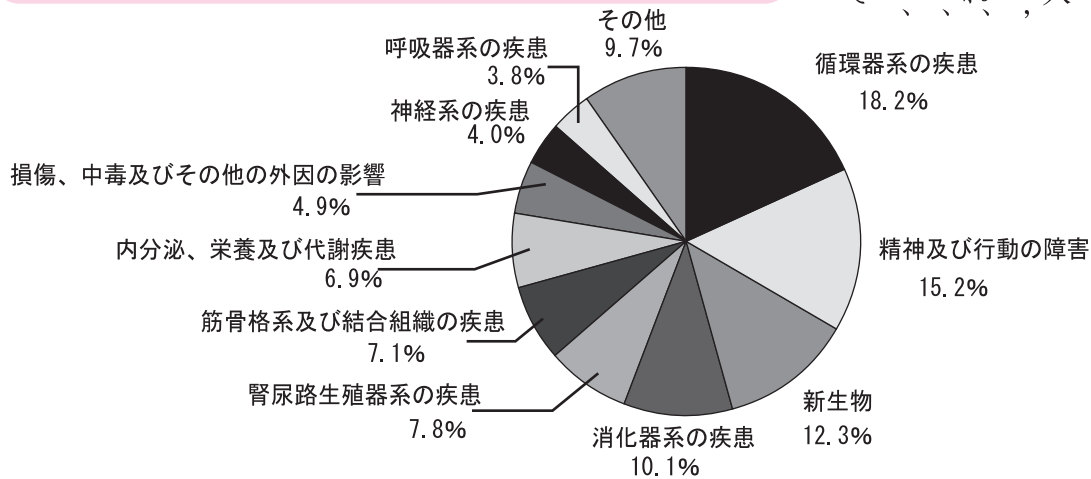
ています。20年度では、一般36万8,888円、退職42万7,575円となっています。これは、「生活習慣病の増加」「医療技術の高度化」「高齢人口の増加」などが考えられます。
なお、後期高齢者一人当たりの医療費は、89万1,735円となっています。

3 疾病分類別医療費

使われた医療費について、疾病分類ごとに見てみましょう。
平成20年5月診療（入院＋入院外）分で見ますと、1億8,132万4,300円が使われ、第1位が「循環器系の疾患」、第2位「精神及び行動の障害」、第3位「新生物」の順となっています。

■疾病分類（平成20年5月診療） 【入院＋入院外】

- 1位：循環器系の疾患（高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）
- 2位：精神及び行動の障害（統合失調症、気分（感情）障害、神経症性障害など）
- 3位：新生物（胃の悪性新生物、大腸の悪性新生物など）
- 4位：消化器系の疾患（う蝕、歯肉炎及び歯周疾患、胃炎及び十二指腸炎、胆石症及び胆のう炎など）



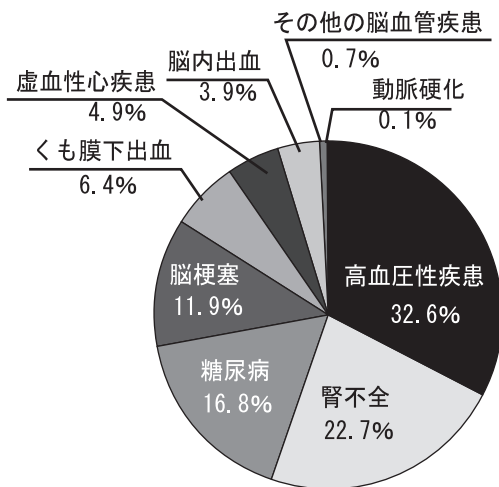
4 生活習慣病関連の医療費

上記の20年5月分の医療費のなかで、中分類疾病により生活習慣病関連の医療費をみても、28・7%を占めており、年々増加してきています。



進んで健康診断を受けましょう！

■生活習慣病の医療費内訳



5 生活習慣病に対応した健康診査

これまで、疾病の早期発見・早期治療を重点とした健康診査が進められてきました。生活習慣病関連の医療費が増加するなかで、平成20年から生活習慣病に着目した「特定健康診査・特定保健指導」制度がスタートしました。

さつま町国民健康保険では、各地域ごとの集団健診を基本に、医療機関での個別健診（14医療機関）を実施しています。生活習慣病の予防と健康の保持・増進のため、年に1回の特定健康診査・特定保健指導を受けましょう。

1に運動、
2に食事、しっかり禁煙、
最後にクスリ！
生活習慣を見直し、
健康を守ろう！

■お問い合わせ
本庁 健康増進課 保険係
（内線2141）